

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年5月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902421		
法人名	有限会社 ひかり		
事業所名	グループホーム ひかり		
所在地	北海道旭川市春光台2条6丁目1番4号 (電話) 0166-51-3088		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月31日	評価確定日	平成22年5月31日

【情報提供票より】(平成22年2月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 9人, 非常勤 6人, 常勤換算	10.5人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	21,000 ~ 29,000 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,350 円		

(4) 利用者の概要(2月28日現在)

利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名
要介護3	6 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	
年齢	平均 83 歳	最低 69 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人元生会森山病院・森山メモリアル病院・福祉村サテライト診療所 豊岡整形外科内科クリニック・いまみや歯科医院・杉村歯科医院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは旭川の福祉村の中に位置し、「心の通い合うなかよし家族」を運営理念として運営者・管理者・職員が一体となってケアの質の向上に取り組んでいます。入居前に一緒に生活していたペットの飼育も可能で世話は職員や利用者と一緒にしています。ホームの前はバス停になっており、玄関ホールにベンチを置き、バスを利用する地域の方々に利用して貰うようにしています。又、町内会に加入し、町内行事のフラワーロード作りや春光台祭りへの参加協力、地域の清掃活動やホーム行事のなかよし家族交流祭りを実施し、ボランティアとして地域の方々が多数参加するなど地域と協力関係を築くよう取り組んでいるグループホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では改善点は挙げられていませんでした。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、自己評価については職員全員で取り組んでいます。又、評価結果は真摯に受け止め、評価結果をもとに業務やケアの見直しや改善が必要な点は、職員全員で話し合い、改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、概ね定期的に実施されています。主な議題は 運営推進会議の委員と利用者との昼食会 危機管理について(避難訓練・行方不明者が発生した場合の対応) MRSAの対応について ホームの近況報告と今後の予定について 新型インフルエンザ予防対策について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 来訪時や毎月、送付している「おたより」で日常生活の様子をお知らせしており、預かり金については金銭出納表を毎月、領収書と共に送付して報告しています。家族の来訪時には、意見や苦情を言い易い様な雰囲気作りを心掛け、家族や利用者からの意見は速やかに運営やケアに反映させるように努めています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の方々が気軽に立ち寄って戴けるようにホームの玄関ホールを開放し、バスの待機場所として提供しています。又、町内会に加入し、町内行事のフラワーロード作りや春光台祭りへの参加協力、地域の清掃活動やホーム行事のなかよし家族交流祭りを実施して地域との交流を図っています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に「それぞれの経験や知恵を尊重し、地域とのふれあいの中で」を掲げており、ホーム独自の理念を作り上げている。又、運営者は地域の方々と積極的に交流を図り、地域密着性を高める取り組みを行っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホームの目に付く位置に掲示され、全員が理念に添ったケアが実践されるように日々、取り組んでいる。又、運営者及び全職員は理念に添ったケアの実践に取り組めるよう毎朝、ミーティング時に唱和して確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方々が気軽に立ち寄って戴けるようにホームの玄関ホールを開放し、バスの待機場所として提供している。又、町内会に加入し、町内行事のフラワーロード作りや春光台祭りへの参加協力、地域の清掃活動やホーム行事のなかよし家族交流祭りを実施して地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、自己評価については職員全員で取り組んでいる。又、評価結果は真摯に受け止め、評価結果をもとに業務やケアの見直しや改善が必要な点は、職員全員で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、概ね定期的実施されている。町内会長、家族会代表、施設長、顧問、管理者及び職員で構成され、運営方針や今後の取り組み方についての意見交換やホームや利用者を理解して貰うように交流し相互理解を図り、サービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護高齢課の担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、担当者とは気軽に相談や情報交換できる関係を築いている。又、市主催の勉強会や研修会にも積極的に参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪時や毎月、送付している「おたより」で日常生活の様子をお知らせしており、預かり金については金銭出納表を毎月、領収書と共に送付して報告している。又、健康状態の変化や相談事についてはその都度、電話で連絡を入れている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時には、意見や苦情を言い易い様な雰囲気作りを心掛け、家族や利用者からの意見は速やかに運営やケアに反映させるように努めている。又、玄関には、ひかりボックスを設置し、意見や苦情を収集し、重要事項説明書に外部の相談窓口を記載している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者・管理者は、離職を防ぐ為に、職員とよく話し合い、職員の家庭の状況や都合を考慮して勤務時間や休日等、希望に添えるように個別に対応し、職員が長く勤めることが出来るように取り組んでおり、やむなく離職する際には出来る限り引継ぎ期間を設けて、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月のスタッフ会議の際に、福祉の知見者による勉強会や研修会を実施しており、グループホーム連絡協議会や研究会が主催する研修会や勉強会に参加する機会を設け、職員の知識や技術向上に向けての支援を行っている。又、研修に参加したものからの報告会を開催している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、管理者や職員がグループホーム研究会と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや実践者発表会参加、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上する取り組みをしている。		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に、ホームを見学して貰い、本人や家族と相談しながら納得を得るまで説明して利用者の不安が無いように配慮している。又、利用時は、家族の来訪や電話等で連携し、ホームの雰囲気に徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人を介護される立場におかず、ごみ集めやペットの世話、掃除や野外での畑作業、雪かきなどの役割事を一緒に行いながら、一緒に過ごす時間を大切にして支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式で本人の意向や希望を把握している。日常生活の中で表情や会話からも情報を収集し、職員間で共有している。又、出来る限り、それぞれの希望に添った本人本位の暮らしが実現出来るように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常の会話の中から、生活歴を踏まえ全ての職員の気づきやアイデアを取り入れ実現可能な本人本位の暮らしが出来るような介護計画を作成している。又、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見が反映した介護計画を作成している。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。又、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても随時、アセスメントを行い、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日常の散歩・買い物の支援、本人の行きたい場所などの要望や希望に添った支援をしている。又、かかりつけ医やリハビリへの通院支援や定期的にマッサージ師の来訪などその時々々の要望に応じて支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制が確立しており、24時間いつでも連絡や医療の相談ができる看護師を確保しており、歯科医や眼科医の往診も可能になっている。又、利用者、家族の希望を把握し、利用前からの医療機関に受診出来るように支援している。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、ホームが対応できる事を明確にして家族に伝えている。看取りの際の対応について全員で方針を話し合い、共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録の取り扱いについては、専門職としての倫理を大切に十分配慮している。又、利用者の尊厳を大切に、礼儀礼節を大切にして、さりげない介助や本人の能力に応じた接し方や本人が思っている現実などを肯定するように職員は徹底して対応している。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全職員が利用者の気持ちを把握し、ホームの決まりや都合を優先するのではなく、本人のその日の希望や意向を把握し、体調を踏まえ、散歩や買い物、ドライブ等の外出の機会やホーム内での家事全般の役割ごとなど本人の希望に添って支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを把握し、献立に反映させるよう心掛け、普段から料理の下ごしらえや配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒に行っている。又、その日の体調に合わせた食べやすい食事を提供し、時には出前やレストランでの外食など食事が楽しみなものになるように工夫している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低、週2～3回を基本にして、長年の生活習慣や現在の希望を大切に無理強いすること無く、リラックス出来るよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で楽しみや張り合いのある暮らしが送れるように利用者の生活歴を踏まえ炊作業、食器洗いや洗濯物たたみ、ペットの世話等の役割事や体操やカラオケ、折り紙等趣味への支援、本人が希望する神社や公園へのドライブなど気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に近隣の商店への買い物や散歩の支援、季節感を感じられる場所や本人の記憶に残るさまざまな場所への気分転換のドライブ、町内のお祭りや清掃活動に参加して、外出での気分転換が図れるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間以外は施錠はしていない。又、利用者の外出傾向も職員間で把握されており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と地域の協力を得ながら緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練を年2回実施している。又、緊急時対応マニュアルと緊急連絡網を作成している。	○	今後は、火災等のわかりやすい緊急時対応マニュアルと地域の緊急連絡網を作成すると共に運営推進会議を通じて地域の方々をお願いする役割を明確にし、協働できるような取り組みを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の資格を持った管理者が、カロリーの過不足、栄養の偏りがないようにしっかりと管理されている。具体的な食事摂取量、水分摂取量が記録され、一人ひとりのその日の健康状態に合わせた量や調理の工夫がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関前には、ホームのキャラクター・七夕飾り・クリスマスツリーのイルミネーションを飾ったり、共用部分には鉢物に花をたくさん飾り生活感が感じられる。また、壁には行事の写真や手芸作品を展示するなど居心地良く過ごせる工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には表札が掲げられ、使い慣れた家具、仏壇、家族写真など馴染みの物が持ち込まれており、安心して過ごせる場所となっている。又、今まで一緒に生活していたペットを飼っている利用者もいる。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。